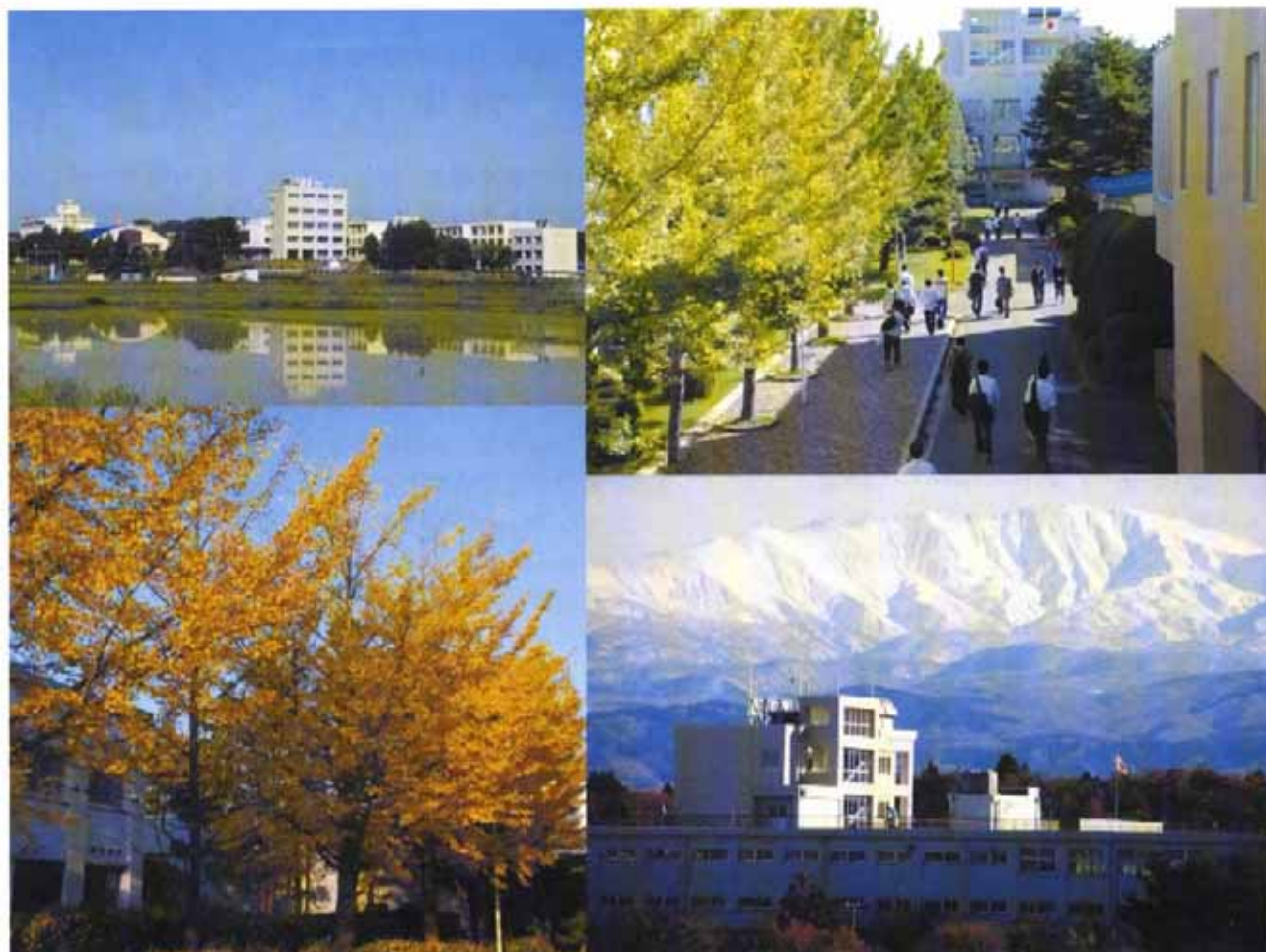


鶴岡高専だより

145

2008・3



キャンパスは、庄内地方の美しい四季の変化を映し出してくれます。

目 — CONTENTS — 次

卒業生・修了生に贈る

学校長告辞	02
担任からの言葉	03

平成19年度卒業生・修了生

卒業研究/専攻科研究テーマ&一言	04
退職のごあいさつ	17

着任しました	18
在校生からの送辞	19
OB紹介	20
トピックス	21
各種大会の記録	23
今年度の進路状況について	24

—大きな夢の実現に向けて—



鶴岡工業高等専門学校長
横山 正明

本日ここに、ご来賓、保護者のみなさま、ならびに本校教職員のご列席のもと、鶴岡工業高等専門学校本科第41回卒業証書授与式並びに専攻科第4回修了証書授与式を挙行できますことは、本校構成員および関係者一同にとりましてこの上ない喜びとするところでございます。

このたび、本科5年の課程を修められ、晴れて卒業証書を手にされました卒業生は

- ・機械工学科……………38名
- ・電気工学科……………36名
- ・制御情報工学科……………41名
- ・物質工学科……………39名

の合計154名でございます。この中には遠く故国を離れて本校で勉学に励んでこられました2名の外国人留学生が含まれております。

また、専攻科2年の課程を修められ、晴れて修了証書を手にされました修了生は

- ・機械電気システム工学専攻…17名
- ・物質工学専攻……………5名

の合計22名でございます。

本科卒業生のみなさん、ご卒業まことにおめでとうございます。また、専攻科修了生のみなさん、修了まことにおめでとうございます。みなさんの勉学や課外活動における日々の精進とご努力に深く敬意を表すとともに、心からお慶びを申し上げます。

さらに、卒業生・修了生の保護者のみなさま、みなさまのご子息・ご令嬢が正規課程の学業を修められ、立派に成長されて、本日ここに本科をご卒業、あるいは専攻科を修了されましたこと、まことにおめでとうございます。長年にわたりご子息・ご令嬢に注がれ、また与えられました、みなさまのあたたかい情愛とご支援に深く謝意を表すとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、卒業生、修了生のみなさん、本日の卒業証書並びに修了証書の授与式は、みなさんのご卒業あるいは修了を厳粛にお祝いする儀式でございますが、もう一つ大きく、大切な意義がございます。それは本日が、みなさんが人生の節目を迎えられ、保護者のあたたかい庇護、学校や地域の保護を離れて、新

たな決意を胸に、新しい世界にひとり旅立つ特別な日であるということでございます。

実業の世界に進まれるもよし、学究の世界に進まれるもまたよし、みなさんが新しく進まれる世界において、仕事の目標を高く、遠く、そして大きく掲げ、その達成のために労苦を惜しまず、日々精進し、努力していただきたい。さすれば、必ずや人々に認められる成果、実益をもたらす成果、そして自らも満足できる成果が得られるものと確信致します。

しかし、その目標に到るまでの道程は山あり谷あり、決して楽なものではございません。頼るべき道標もない未知の目標を目指すからには、みなさんの前に道はなく、自らの道を自らの力で切り拓きつつ進むほかはございません。厳しく、険しい道程を最初から覚悟して進み始めるほかございません。

加うるに、たとえ道なかばでどんなに厳しい逆境に陥ろうとも、与えられた仕事を投げ出してはなりません、あきらめてはなりません。みなさんには、逆境においてその威力を発揮する強力な援軍がついております。それは、みなさんが本校において修得した一般教養、専門知識や経験、課外活動等において培った強い精神力と体力、そして築いてきた強力な人間関係、等々でございます。それらを総動員すれば、どんな逆境であろうとも立派に克服できること必定でございます。みなさんは本校を卒業し、修了したという強い自信と高い誇りをもって、新しい世界に向けてひとり旅立っていただきたい。

みなさんが活躍される世界は、庄内地域や山形県に止まらず、日本全体、さらには広く、地球全体にも拡がるグローバルな世界でございます。今日を大きく見開いて、それらの昨今の状況をよく観察していただきたい。世界においては、大国や持てる国の私利私欲やエゴによって、たとえば温室効果ガスの排出規制はままならず、地球温暖化や環境汚染は止まらない。石油や穀物は投機の対象になって、その価格は高止まりして大きな問題になっている。宗教や民族間の争いも止むことがなく、毎日多くの人命が失われている。日本にあっては、官民をとわず、大小をとわず、あらゆるところで「うそ」、「偽」が日

常茶飯事のように行われていて、不祥事が絶えない。また、親が子、子が親をあやめるようなことが平気で行われている。衣食の豊かさのかげに、礼節や誠心、さらには情愛まで忘れ去られている。いったい今の日本はどうなっているのでしょうか！今の日本は精神的には危機的な状況にあります。

このような、多くの難しい問題をかかえている世界、精神的に深く病める日本を本当に救いだせるのは、歴史と文化の香り高く、四季折々の自然が美しい、ここ鶴岡において教育を受けられ、心身ともに大きく健全に、そして人品卑しからざる人間に成長されました、純粋で、美しい心を持っておられるみなさ

ん以外にございません。

みなさんには、地域社会や日本の進歩・発展に寄与し、世界の平和・安寧、人類の幸福・繁栄に貢献する責務・使命があります。まちがっても、人心を惑わしたり、社会を混乱させるような反社会的な行為に組してはなりません。このことを本日ここに旅立ちするにあたってよくよく再認識し、心の中にとどめておいて、時折思い出していただきたい。

みなさんのこれからの新しい世界におけるご活躍と心に描いておられる大きな夢の実現を心から祈念し、期待して校長告辞と致します。

平成20年3月19日

卒業おめでとう

—担任からの言葉—



総合科学科 山田 充昭

とても楽しい学級でした。
皆さんの担任ができて本当によかった！立派な社会人になって、日本を救ってください。



総合科学科 佐藤 浩

卒業おめでとうございます。今年は日めくりカレンダーを買いました。
カレンダーには毎日、先人の言葉が書いてあります。「望みを持ちましょう。でも、望みは多すぎではいけません（モーツァルト）」



機械工学科 嶋屋 誠

まずは三年間辛抱。
稼ぎが出るのが五年過ぎ。
十年精進すれば、
ようやく「プロ」に。
元気で！！



制御情報工学科 渡部 誠二

ご卒業おめでとうございます。
また、就職、進学おめでとうございませう。人の話をよく聞き、謙虚さを忘れずにがんばってください。
ご活躍を願っています。時々、元気な顔を見せに来てください。楽しみにしています。



総合科学科 窪田 眞治

SVOC文型はOCだけを取り出すと、SCかSVの関係にあり、基本的にOCの順序になること、少なくともこのことを把握して卒業して下さい。



総合科学科 井上 孝一

卒業おめでとう。
たくさんの思い出ありがとう。
自信を持って、焦らず、くじけず。



電気電子工学科 江口 宇三郎

5E卒業生の皆さんへ。
ご卒業おめでとうございませう。圧倒されるくらいにぎやかで活発な皆さんと一緒に楽しく過ごすことができました。
卒業後は自分の夢の実現に向かって精進し、是非夢をかなえてくれることを期待します。



物質工学科 清野 恵一

5Bの諸君、卒業おめでとう。
幾多の試練を乗り越え、充実した高専生活に終止符を打つ時が来ました。卒業後は自分の大きなキャンパスに自由に絵を描いて下さい。どんな絵になるか楽しみです。

機 械 工 学 科

●指導教員 加藤 康志郎



渡邊 拓弥

- ▶ 接触面に垂直な微小振動が境界潤滑に及ぼす影響
- ▷ 四年目はしんどかったなあ…。

高橋 輝

- ▶ 接触面に垂直な微小振動による油膜形成
- ▷ いろいろあったが、卒業出来て良かった。

畠山 靖史

- ▶ 枝豆荚むき機の開発
- ▷ 2年間製図が大変だった。

●指導教員 白野 啓一



加藤 直志

- ▶ 歩行者を考慮した防雪柵形状の研究
- ▷ やりきった気がする。

菊地 隆

- ▶ 二次元衝突噴流自励発振系のせん断層音響励起による制御

- ▷ 頭良くなった。

高橋 恭平

- ▶ 歩行者を考慮した防雪柵形状の研究
- ▷ サッカー楽しかった。

八鍛 悟

- ▶ 矩形噴流の拡散の基礎研究
- ▷ 5年間よくやった。

渡部 貴史

- ▶ 二次元衝突噴流自励発振系のせん断層音響励起による制御
- ▷ 数々の病を克服してきました。

●指導教員 嶋屋 誠



奥山 和貴

- ▶ A7079-T6アルミニウム合金の圧延方向が破壊靱性および疲労き裂伝ばに及ぼす影響
- ▷ 五年間で20kg痩せました(´▽´)

上浦 圭太

- ▶ 旧型PCを活用した恒湿度疲労き裂進展試験システムの開発
- ▷ 第二の高専へ旅立ちます(´▽´)

渋谷 充明

- ▶ 旧型PCを活用した恒湿度疲労き裂進展試験システムの開発
- ▷ 野球部頑張れ(・ω・)b

須藤 達也

- ▶ A7079-T6アルミニウム合金の疲労き裂伝ばに及ぼす大気湿度の影響
- ▷ 普通の五年間でした(´^´)

瀧口 彰

- ▶ A7079-T6アルミニウム合金の疲労き裂伝ばに及ぼす大気湿度の影響
- ▷ 五年間で視力が1.0低下(´△`)

●指導教員 **竹村 学**



門脇 広宜

- ▶ グループ分け問題の研究
- ▷ 社会人としての人生のスタートだ。

木村 大地

- ▶ カリキュラム編成支援システムの開発
- ▷ 何事も経験。重要なのは経験を生かすこと。

佐藤 哲則

- ▶ マンマシンインターフェースの開発
- ▷ 人生いろいろ。

高橋 忠相

- ▶ 学寮宿直編成支援システムの開発
- ▷ 挑戦。

富樫 翔

- ▶ 人員配置問題に対する近似解法
- ▷ 社会人になってもハンドボールを続けます。

●指導教員 **後藤 誠**



赤澤 直哉

- ▶ プロベラ式風向風速計による瞬間最大風速値の算出

▷ もっと頑張れば良かった。

安在 克也

- ▶ 圧電素子を利用した強風センサの開発
- ▷ もっともっと頑張れば良かった。

大川 貴久

- ▶ 重油-水エマルジョン燃料の発熱量と燃焼状況
- ▷ 夏の日々のベックマンには注意しろ。

小林 潤

- ▶ 燃料電池・太陽電池ハイブリッド車の電動機2基による出力増の試み-「Green Leaf XIII」の構造と各電力供給源の特性
- ▷ ロウデン、ダメ、イクナイ。

佐藤 直太郎

- ▶ 燃料電池・太陽電池ハイブリッド車の電動機2基による出力増の試み-実走行データの解析
- ▷ 安全運転を心がけて下さい ← お前がな!

●指導教員 **本橋 元**



大沼 孝廣

- ▶ 燃料電池・太陽電池ハイブリッド車の電動機2基による出力増の試み-研究の背景とラリー参加の必要性・意義
- ▷ 鶴高専卒業生として自覚を持ち社会貢献する

木村 航

- ▶ オープンクロスフロー型水車のトルク発生メカニズム
- ▷ 五年間学んだことを新たな環境でも忘れない

渡部 高大

- ▶ 案内羽根を持つクロスフロー型風車の最適形状に関する研究
- ▷ かなり学んだ。

江口 裕也

- ▶ カルマン渦を利用した強風センサの開発
- ▷ なんでもないような事が幸せだったと思う。

●指導教員 増山 知也



阿部 央

▶ ステントの変形計測

▷ 留年しましたが諦めずに続けられました。

五十嵐 優也

▶ ページめくり機用センサ内蔵ローラからの信号伝達

▷ 色々とお手をかけました。ばいばい

高橋 俊輔

▶ 画像相関法による物体の変形解析

▷ いろんなことがわかった5年間でした。

●指導教員 五十嵐 幸徳



齋藤 祐

▶ MA-SHS-PECS法による $\text{Si}_3\text{Ti}_2\text{Zr}_5$ の作製

▷ 来年はライブ行き放題〜♪

佐東 裕紀

▶ MA-SHS法による $\text{Si}_3\text{Ti}_2\text{Zr}_5$ の生成

▷ Whisky, R&R and Women.

佐藤 優輔

▶ PECS装置を用いた擬HIP法による16H型シリサイドの焼結

▷ 5年間お世話になりました、ありがとう。

星川 和也

▶ Si-Y-Zr系16H型シリサイドの試作

▷ やるっきゃない。

●指導教員 矢吹 益久



秋葉 智康

▶ ねじ溝式真空ポンプの性能向上

▷ 自分の夢に向かってがんばってください。

伊藤 正登

▶ ねじ溝式真空ポンプの性能向上

▷ I LOVE SOCCER!

●指導教員 鈴木 建二



後藤 裕馬

▶ 反応スパッタ法によるFe-N膜の合成

▷ 鶴高专は第二の故郷です。

渡部 庄平

▶ 反応スパッタ法によるFe-N膜の合成

▷ 鶴岡高专卒を誇りに立派な技術者になりたい。

電気工学科

●指導教員 江口 宇三郎



猪俣 靖

▶ OCTシステムによる光断層画像計測
▷ 5年間大変でした。ありがとうございました。

竹内 佑

▶ CMCによる圧力・接近特性に関する研究
▷ 色々あった5年間楽しかったです。

畑山 雄介

▶ CMCによる電磁波応答特性に関する研究
▷ 5年間しんどかったです。

和田 祐也

▶ CMCによる光波応答に関する研究
▷ 5年間ありがとうございました。

●指導教員 佐藤 秀昭



荒井 嘉昭

▶ カラーコンフォートメータを用いた白色光の評価
▷ 苦勞もしたけど充実した時間をすごせました。

五十嵐 勇介

▶ 多面体形LEDの配光シミュレーション
▷ 最高の友達に出会えた5年間でした。

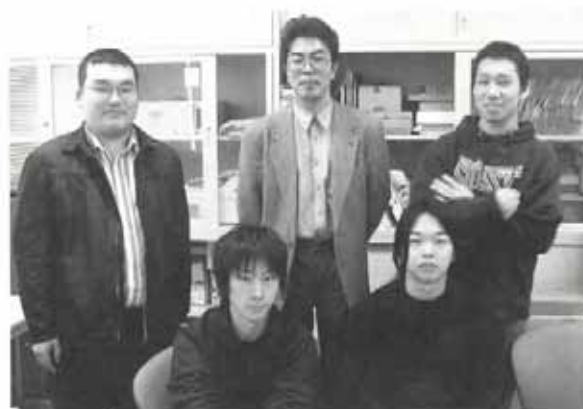
今野 歩

▶ LEDのバルス光の間欠照明によるコマツナの生育
▷ 何やらとっても楽しい5年間でした☆

諏訪 孝明

▶ ペルチェ冷却装置に外部光が入射した場合の温度特性
▷ 学食のカツパンは最高でした。

●指導教員 佐藤 淳



奥山 暢人

▶ データマイニングについて
▷ さらば!

斎藤 雄喜

▶ マルチコアプロセッサCellの性能評価
▷ 卒研とは、常に二手三手先を考えてするものだ!

羽賀 敬浩

▶ Flashを用いたe-learning教材の作成
▷ リスク管理を大切に。

安野 達也

▶ LabVIEWを用いた自動計測
▷ ガブリチュウおいしいな。

●指導教員 宝賀 剛



石川 雅浩

▶ 電析膜の電気抵抗に及ぼす添加物の影響
▷ 5年間努力できてよかったです。

大沼 勇二

▶ MR特性自動測定システムの構築と評価
▷ 電気はすごく難しかったです。

木内 歩基

- ▶二層傾斜構造Taスパッタ膜の特性試験
- ▷社会にでてからもがんばります。

佐藤 千比呂

- ▶Fe/Al多層膜の作製とTMR膜への応用
- ▷5年間お世話になりました。

●指導教員 吉木 宏之



小林 竜

- ▶大気圧マイクロプラズマのV-I特性
- ▷卒業後もみんなで集まってバカやりたいです。

蛸井 光

- ▶マイクロ波励起プラズマ源の研究
- ▷プラズマの可能性は無限大です。

丹野 幸太郎

- ▶大気圧マイクロプラズマの発光分析
- ▷一生の友達と出会えました。感謝です。

渡部 学

- ▶廃トナーの放電処理
- ▷辛い、泣きたい、その気持ちしかないね。

●指導教員 神田 和也



佐藤 健太郎

- ▶二足歩行ロボット脚部の設計・製作
- ▷全略。

高倉 勇樹

- ▶近赤外分光法の基礎

▷最高の友達に出会えて良かった、ありがとう!

松田 拓也

- ▶ハプティックセンサの考察とMCFによる複合材料の特性試験
- ▷先生、シリコン固まりませんでした!

松田 智裕

- ▶OpenCVを用いる画像処理による形状良否判別
- ▷就職後は真面目に生きたいです。

●指導教員 藤本 幸一



池田 拓馬

- ▶交流安定化電源の試作
- ▷ふぉーえーばー 藤本研究室。

大瀧 光孝

- ▶LEDを用いた植物の短日処理システム
- ▷じつりょく勝負。

鈴木 孝明

- ▶SSRにPWM制御方式を採用した温度制御システム
- ▷もちろん常に他力本願。

田村 奏

- ▶電子式電力計の試作
- ▷とめられないこの想い。

●指導教員 保科 紳一郎



梅木 昇

- ▶FD-TD計算の高速化～Subgrid法を用いた計算量の削減についての検討～
- ▷自分の生きたいように生きればよい。

佐藤 千宏

- ▶小型平面アンテナの形状と特性の関係についての実験的検討
- ▷あやまってすむと思うなよ～。

武田 大樹

- ▶磁界を用いた冷凍状態の制御～検証用実験装置の作製～
- ▷現状維持では後退するばかり。

山本 祥啓

- ▶室内における電磁波放射実験環境の検討
- ▷そのままでもいいがな。

●指導教員 **武市 義弘**



武田 健矢

- ▶複数の言語を用いたロボットプログラミングの比較検証
- ▷先生方、この恩は一生忘れません。

万年 達也

- ▶PLCの通信性能の検証
- ▷ここからが本番です。精進し続けます。

横澤 真吾

- ▶CGIを用いたアンケートシステムの構築
- ▷気が付いたら卒業してました。

渡部 和哉

- ▶Visual Programming Languageの開発
- ▷5年間。わりかし疲れました。

制御情報工学科

●指導教員 **柳本 憲作**



五十嵐 舞

- ▶音響・振動信号を用いたマイクロファンの異常診断に関する研究
- ▷(o/▽`o)/

佐藤 龍

- ▶シロッコファンのパッシブノイズコントロールに関する研究
- ▷/(^o^)\

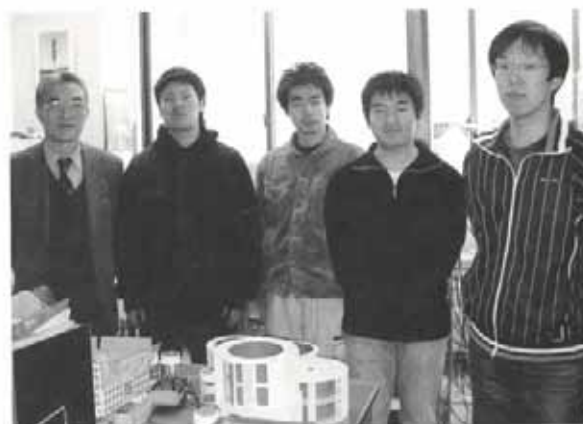
鶴巻 真人

- ▶FEMによる共鳴形消音器の数値シミュレーション
- ▷\(^o^)/

ライ

- ▶C6713DSKボードによるシリンダ内容積計測システムに関する研究
- ▷(^o^)/

●指導教員 **丹 省一**



佐藤 勇太

- ▶燃料電池・太陽電池ハイブリッド車の特性～電動機2個による出力増の試み～
- ▷お疲れさまでした。あと2年頑張ります。

菅原 ひろき

- ▶ 圧電素子の出力評価の試み
- ▷ 「あと〇日ある」その考えが命取り。

●指導教員 安齋 弘樹



阿部 和彦

- ▶ H8マイコンによるICタグの実装
- ▷ 安齋研究室でよかったです。

石垣 要

- ▶ FDTD法を用いたICタグ用パッチアンテナの設計
- ▷ 良い5年間でした。ありがとうございました。

太田 拓也

- ▶ RシステムによるGoogle Earthの操作
- ▷ 充実した1年、素晴らしい研究室だった。

菅原 一記

- ▶ パッチアンテナの製作と評価
- ▷ 卒業研究がんばってください。

元木 瞬

- ▶ IDWによるRFIDシステムの構築
- ▷ 楽しい研究室なので、いい研究をしてください。

●指導教員 吉住 圭市



岡部 勇斗

- ▶ XML-DBMSに関する研究
- ▷ 人から嫉妬されてこそ、本物である。

河野 竜也

- ▶ C#の文法と構造について
- ▷ Have the brave to fly, the home to back.

齋藤 拓也

- ▶ 英語教材ソフトFlash Wordsの製作
- ▷ 神はその人が克服できる試練のみを与える。

佐藤 恭平

- ▶ 微生物コロニー計数システムにおける円形分離法の検討
- ▷ 今できることをすればいいと思います。

高橋 秀徳

- ▶ 電子メールによる求人情報収集・配信システムの構築
- ▷ やりたいことを見つけること、それが第一歩。

●指導教員 宮崎 孝雄



井上 定之

- ▶ レーザ光の反射率測定を利用した表面温度測定法
- ▷ 長かったけど高専に入って良かった。

田宮 純

- ▶ 小型風車の発電量と風向・風速モニターシステムの製作
- ▷ 沢山学ぶ事がありました。

成澤 望

- ▶ 各種光源の可干渉距離の測定実験
- ▷ お世話になった先生、友達に感謝します。

本間 仁

- ▶ 初米の内部割れ検出方法の開発
- ▷ いろいろな思い出ができた5年間でした。

守屋 沙耶

- ▶ マイケルソン干渉計を用いた微小振動測定
- ▷ 5年間大変な事続きでしたが面白かったです。

●指導教員 佐藤 義重



鈴木 喬之

- ▶ニューラルネットワークを用いたアドバンスドPID制御システムの構築
- ▷学生生活を楽しんで下さい。

難波 大介

- ▶ブルートゥース機能を用いた知能ロボットの動作プログラム作成に関する実
- ▷これから頑張ります。

三浦 雄介

- ▶ニューラルネットワークを用いた2リンクアームロボットの位置制御に関する研究
- ▷卒業まではあつというまでです。

森谷 浩貴

- ▶ニューラルネットワークを用いた2リンクアームロボットの位置制御に関する研究
- ▷卒研は、まじめにやっておくべし。

●指導教員 三村 泰成



荒木 啓介

- ▶TeXとPHPを用いたDBからのシラバス自動生成
- ▷通学は大変。でも毎日登校しようw。

高橋 佑典

- ▶PHPとPostgreSQLを用いたシラバスデータ管理システムの構築
- ▷5年の生活 部活：睡眠：勉強 5：3：2。

長谷部 清介

- ▶モーションキャプチャを用いたアンダーハンドレシーブの動作解析
- ▷へたれな学生でした◎排球部がんばれー！◎

矢作 悠

- ▶屋内における運動履歴測定法の概念設計
- ▷非公式、陶芸同好会をよろしく(特に若い力)。

●指導教員 大久保 準一郎



岡部 一平

- ▶Linuxでの各種サーバ構築の調査
- ▷5年間ガンバッタ。。。。

佐藤 寛樹

- ▶BMPファイルをJPEGファイルに変換するプログラムの作成
- ▷5年は案外短かった。

長谷川 達馬

- ▶Windowsによる各種サーバの構築と調査
- ▷もっと遊んでおけばよかった(´Д｀)

堀江 将隆

- ▶「マイロボットID-01」の製作とそのプログラミング
- ▷5年間疲れました。

●指導教員 渡部 誠二



石川 篤

▶ Visual C++によるデジタルフィルタの設計ツールの製作

▷たくさんの思い出ができました! ありがとう。

齋藤 多佳

▶ MPIによる並列処理

▷5年間の経験を今後に生かしていきたい。

高橋 豊

▶ DSPスターターキットによるANCシステムの構築

▷5年間御世話になりました。

舟腰 磨結実

▶ ウェーブレット変換を用いたマイクロファンの異常診断

▷最高の友、部活、先生に出会えた幸せな5年間でした。

渡邊 謙

▶ DSPスターターキットによるデジタル信号処理実験の検討

▷5年間お世話になりました。

●指導教員 渡邊 隆之・西山 勝彦



太田 奈津美

▶ Javaによる非定常熱伝導問題解析プログラムに関する研究

▷もう終わりだ! 今だからゆうけどガ…☆

熊田 美沙

▶ Javaプログラミングによる物理現象の計算シミュレーション

▷(-_-)。oO(卒業したいナできるかな)。

山本 啓太

▶ SPH粒子法の物理現象解析への応用に関する研究

▷へちょい学生でした(笑) ★卓球部頑張れ☆

物質工学科

●指導教員 清野 恵一



池田 祐子

▶ サイクロン集塵機の性能評価試験と高性能化への対策

▷サイクロンには愛情を持って接して下さい☆

岡山 太樹

▶ 廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料の低温特性について

▷さよなら!! バイバイオディーゼル!! by村上

小池 貴士

▶ 燃焼触媒による煙草煙を含む空気浄化

▷チーム木須、2月29日CD発売しました。

田宮 竜太

▶ 二水石膏のメカノケミカル脱水が硬化体の強度に及ぼす影響

▷ドラマ「ROOKIES」4月から放送スタート!!

富樫 直之

▶ 二水石膏と酸化マグネシウムの混合粉碎に及ぼす試料調整温度の影響

▷秀人、プリン買ってきて☆6年間楽しつけ!

●指導教員 菅原 晃



野口 航太

- ▶アセチル基を持つ5員環トリチオ炭酸の合成とケテンジチオアセタール化
- ▷ダージリンの蒸らし時間について。

松浦 千里

- ▶ベンゾチオフェン骨格を持つトリチオ炭酸の新規合成法の開発と反応
- ▷おいしい鴨鍋の合成法について。

●指導教員 小谷 卓



阿部 知代

- ▶鶴岡市におけるエアロゾル中水溶性成分の天候別特徴について
- ▷何とか5年間で卒業できました☆

大瀧 佳菜

- ▶鶴岡市におけるエアロゾル中酸抽出成分に与える黄砂や季節風の影響について
- ▷バレー部で、女として強くなれたよ。

菅井 豪

- ▶鶴岡市と朝日町における降水中の化学成分の比較について
- ▷女は愛嬌、男は度胸、そしてあいつは遠藤暁。

●指導教員 栗野 幸雄



阿部 礼

- ▶単斜晶系チタン酸を使ったカラム法リチウム吸着の検討

▷5年はあっという間でした。御馳走様です。

伊藤 孝弥

- ▶イオン交換体としての単斜晶系チタン酸の構造的検討
- ▷改築時に何も起こらなければ・・・。

木須 一彰

- ▶マクロ条件下での単斜晶系チタン酸のイオン交換反応の証明
- ▷化学とドラムでいっぱいでした。チタン酸!

神原 将人

- ▶イオン交換体単斜晶系チタン酸の繰り返し利用の検討
- ▷いろんな意味で本当に長かったよ。

●指導教員 瀬川 透



岩淵 鷹

- ▶2,3-ジフェニル-6,6-ジシアノフルベンを配位子とした錯体とエチレンの反応
- ▷今、一羽の鷹が鶴高专から飛び立った。

土井 翔平

- ▶2,3-ジフェニル-6,6-ジシアノフルベンへのカルボキシル基の導入
- ▷卒業さえできれば、特に言う事は無いです。

仲川 航平

- ▶フォトクロミズムを利用したリサイクル可能なポリマーの合成
- ▷気が付いたら卒業です。

福田 光

- ▶exo-2,3-ジフェニル-6,6-ジシアノフルベン二量体の光反応
- ▷今年いっぱい壊したんで来年は壊しません♪

本間 俊将

- ▶2,3-ジ(3'-アミノフェニル)-6,6-ジシアノフルベンを配位子とした錯体の合成
- ▷みんなのノートのおかげで頑張れました。

●指導教員 飯島 政雄



井上 裕也

- ▶ 絹タンパク質セリシンへのポリ乳酸の導入
- ▷ 「自分らしく」これが一番!!

奥山 慎太郎

- ▶ 長鎖ジアルキルシクロデキストリンの合成研究
- ▷ とても充実した毎日でした。

加藤 洸

- ▶ ビシクロ系アセタール化合物によるリゾチームのモデル化
- ▷ この5年間とても勉強になりました。

黒坂 哲也

- ▶ 絹タンパク質セリシンへのシクロデキストリンの導入
- ▷ 遅刻は最大の敵!

●指導教員 竹田 真敏



阿部 嵩也

- ▶ 出芽酵母14番染色体上のASC1/RAS2遺伝子の破壊様式と呼吸能
- ▷ 友とぶどう酒は古いほど良し。

大瀧 友樹

- ▶ 変異型ATP1遺伝子、atp1-2遺伝子のコピー数とそれらの機能的差異
- ▷ 善悪はそれを用いる者の心の中にあり。

木村 和也

- ▶ 出芽酵母4番染色体上に2コピー存在するATP16遺伝子の機能的差異
- ▷ あきらめたらそこで試合終了だよ。

星川 洋範

- ▶ 出芽酵母16番染色体上のATP15遺伝子の構造と機能
- ▷ \ (^ o ^) /

●指導教員 佐藤 貴哉



金山 雅人

- ▶ 高密度イオン液体ポリマーブラシを用いた燃料電池電解質膜の開発
- ▷ ありがとうございます。

庄司 達也

- ▶ 新規イオン液体モノマーのリビングラジカル重合特性
- ▷ 6年間ありがとうございました。

●指導教員 戸嶋 茂郎



遠藤 暁

- ▶ 塩化物イオン存在下におけるZn-Ni合金めっき膜の耐食性に及ぼすNi含有率の影響
- ▷ しんどい事も多かったけど戸嶋研でよかった。

菅原 尚子

- ▶呼吸量を指標としたウシ移植胚選別の試み
- ▷げんきに過ごせた1年間。先生大好き!

鈴木 遼太郎

- ▶ウシ体外受精胚の呼吸量と凍結融解後の生存性との関係
- ▷ろくでもない俺の高専生活6年間に乾杯。

土屋 実夏

- ▶微量有機酸を含む水溶液中におけるニッケルの溶解挙動のEQCM解析
- ▷うまれ変わっても戸嶋研に入ります♪

●指導教員 佐藤 司



青柳 大樹

- ▶エポキシ樹脂/反応性ゴムにおける重合反応誘起相分離の発現性
- ▷鶴岡高専は私の心と体を育ててくれました。

湊屋 輝明

- ▶立体規則性の異なるポリビニルアルコールの合成と相溶性の比較
- ▷充実した学校生活をありがとう。

●指導教員 南 淳



横澤 健太郎

- ▶シロイヌナズナ・プロテアソームATPアーゼの転写ジーンサイレンシングにおける機能
- ▷ブランドに頼るな ブランドになれ。

横山 類

- ▶シロイヌナズナ・プロテアソームATPアーゼのエピジェネティクス、DNA修復における機能
- ▷笑って暮らすも一生、泣いて暮らすも一生。

●指導教員 阿部 達雄



太田 佳太朗

- ▶ミジンコの雄性化判別法の開発
- ▷楽しくて、すげえ〜長い5年間でした。

渡部 央

- ▶水生生物を用いた庄内地方における環境水の評価
- ▷力に届いたら男に生まれた意味がねえだろ!

専攻科

●物質工学専攻(5名)



板垣 さやか(佐藤(司))

- ▶ポリビニルアルコールを含む分岐高分子およびグラフト共重合体の合成と相溶性
- ▷みんなありがとう!!とっても楽しかったよ!

成富 拓也(佐藤(貴))

- ▶高密度ポリマーブラシを利用したイオン伝導ネットワークの創製
- ▷7年間お世話になりました。

荒木 孝将(佐藤(貴))

▶イオン液体電解質を用いた電気二重層キャパシタの性能向上

▷いい7年だったよ、いろいろと。

神尾 里美(飯島)

▶絹タンパク質へのシクロデキストリンの導入

▷お世話になりました。頑張ってきます。

信夫 俊介(菅原)

▶スチレンへの五員環トリチオ炭酸基の導入と重合

▷4年間お世話になりました。

●機械電気システム工学専攻(17名)



青沢 陽平(丹・矢吹)

▶三杯式風速計を用いた真の瞬間最大風速値の計算法

▷楽しい2年間を忘れないように働きます!!

阿部 直也(加藤)

▶アンギュラ玉軸受を利用するトラクション減速機

▷7年間お世話になりました。

阿部 康弘(本橋・白野)

▶歩行者を考慮した防雪柵形状に関する基礎的研究

▷Good bye 鶴岡! Hello 新潟!!

大場 寛文(増山)

▶静音化ならびに高速化を考慮した自動ページめくり機

▷ページめくり機の製品化を願いつつ。

金山 訓(丹・本橋)

▶オープンクロスフロー型水車の無衝突角流入設計と特性

▷実に充実した2年間でした。楽しかった!!

長谷川 達也(柳本)

▶クーリングファン用ANCモジュールの消音効果

▷ $\nabla(*, \omega, *)$

早坂 勇亮(三村)

▶汎用CADデータを用いた自動有限要素解析の試み

▷二年はあっという間でした。スイーツ(笑)

松井 大悟(三村)

▶投動作分析のための簡易腕モデルの開発

▷何事も計画的に。(切実)

日下部 佑(本橋)

▶極細オリフィスの流量に関する研究

▷8年間お世話になりました。



青柳 裕大(渡部(誠))

▶適応フィードバック型能動騒音制御システムの構築

▷1日24時間ジャ足リナイン (・▽・)

池田 孝明(保科)

▶電磁波吸収による温度分布変化の解析

▷すがすがしい気持ちで一杯です。

加藤 圭(宮崎)

▶だだちゃ豆種子の自動判別方法の研究

▷ここでの経験を糧にして社会人として頑張りたい。

淡路 準平(宮崎)

▶光干渉計による微小振動の計測

▷大変お世話になりました。鶴岡高専での経験を社会で活かします。

金内 勇人(神田)

▶自律移動ロボットの協調動作に関する基礎研究

▷過ぎるのは早かったけどいい経験できた。

田村 健(安齋)

▶画像処理によるマイクロ波融雪路の特性解析

▷7年間ありがとうございました。

松木 寛知(柳本)

▶マイクロファン音の1/fゆらぎ解析による面ぶれ診断

▷ $(\geq \nabla \leq)$ b

桃谷 司郎(神田)

▶携帯式簡易土壌センサの開発

▷7年間鶴岡で過ごしました。いい町でした。

退職のごあいさつ



機械工学科 嶋屋 誠

心に想像力を、腕に技術力を!!

学校卒業後、8年半の企業経験を経た後の高専勤務も、早いもので32年半も経ってしまいました。この間、バスケットボール部顧問が足かけ20年、そして、この3年間に担任してきた5年生と一緒に高専卒業を迎える事は感慨深いものがあります。

常に現場に立つという苦しみと喜びの中で定年を迎えましたが、学生には、まず人間としての想像力を、そして次に現実を動かしていける真の技術力を期待しています。他人の苦しみや痛みを思いをいたす想像力、そして現実を動かしてゆける辛抱強くも力強い技術力を併せ持つ人間力を磨いてください。

教職員の皆様には、生来の頑固さや口の悪さから、いろいろご迷惑をおかけしました。全国プログラミングコンテストなどの大きなイベントも暖かいご協力により無事に乗り越える事ができて、共に仕事を達成した喜びは、今もなお楽しく思い出されます。

また非常勤でお世話になりますが、皆様の健康と活躍を祈りつつ、ひとまず退職のお礼といたします。



機械工学科 丹 省一

(兼：制御情報工学科)

良い出会い

「高専の5年間は短いものですよ」と学生の保護者に言ってきた。自分自身の本校での40年を振り返ると、実に短い期間であったように思う。

20歳代後半にエネルギー問題に出会って以来、現在まで学生と一緒に「自然エネルギー」を研究テーマとして取り組めたことは幸いで、また充実した時間であった。当初は、現在の地球規模での問題まで発展するとは想像もつかなかった。中でも、風車の研究を通して海外の現状視察もでき、少しは視野が広がったとも思っている。

比較研究として取り上げた太陽電池の利用技術（ソーラーカー、後に燃料電池・太陽電池ハイブリッド車）も想い出深いものである。最も感動的であったのは、八郎潟で開催されているワールド・ソーラーカー・ラリー初参加の時である。このラリーでは、世界記録を持っている高性能車も同じ土俵にいた。本校初の学生達による手製のソーラーカーは性能が悪く、約32kmのコースを一周するのに1時間30分

かかった。この間、運転している学生との交信もできず、どのような状況にあるか全くわからないのもであった。コースを一周して戻ってくる車が視野に入る度に、ピットで待っている学生と一緒に万歳の声を上げたものである。オーストラリア縦断のソーラーカーラリーに学生と共に参加できたことも幸運なことであった。車の性能が向上し、更に車の性能とコースデータからのシミュレーション計算を通して計画的に走り、かつ交信もできるようになると、感動も薄れがちになる。車名「Green Leaf」は、初心を忘れず、個々は弱者であることからの命名であった筈であったのだが……。

学生と共に味わったこの感動は、他にも共通すると思われる。講義は出会いであり、内容を真に理解した時の感動は生涯忘れないものと思う。更に新たな大きな問題に出会い、問題解決に没頭し、有意義な毎日を過ごすことを学生に期待したい。

「百聞は一見に如かず、百見は一触に如かず」をモットーに「先ず、やってみよう」と、学生と過ごした40年であった。



物質工学科 菅原 晃

誇れる物質工学科

昭和42年から41年間鶴岡高専の教員として無事に過ごすことが出来ましたのは、卒業生、学生、教職員の皆様方によるご支援のお陰と心から感謝申し上げます。思えば、大学卒業と同時に、新設された工業化学科の助手となり、全く何もないゼロからのスタートでした。それから40年間、色々と試行錯誤を繰り返し、他に誇れるシステムを作ることが出来ました。更に、物質工学科への改組、専攻科の設置と本校にとって一大事業を準備室長として成し遂げることが出来、本校のこれからの土台を作ることが出来たと思っております。多くの卒業生がそれぞれ企業の重要なポストで活躍し、非常に高い評価を得ております。このことは我々が行ってきた教育が正しかったことを示しており、大いに誇れる事だと思います。近年の高専を取り巻く状況は非常に厳しいものがありますが、学生諸君は、先生を信じ、己を信じ、誇りを持って日々努力を続けて下さい。

皆さんの大成を祈ります。

退職します



総務課課長補佐 佐藤 勉

サラリーマン人生に感謝！

昭和41年に鶴岡高専に採用されて以来、42年間の勤務を終え、この3月に退職を迎えることになりました。

この間、鶴岡高専では23年間お世話になり、3課を経験することができましたし、最初に就職した職場で退職を迎えることは嬉しく、幸福者であると思っています。

今日の私があるのは、上司、先輩、同僚などの「周囲の方々のお蔭」であり、本紙面をお借りして、これまでのサラリーマン人生に「感謝の念」を表したいと思います。

最後になりましたが、15歳人口の減少、教職員の常勤人件費削減や教職員の人員削減など、本校を取り巻く環境は極めて厳しいものがありますが、教職員一丸となった学校運営がなされ、ますますのご発展を祈念いたしまして退職時の挨拶に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。



前学生課課長補佐 藤森 敏

鶴岡高専の発展を願って

昭和51年4月に山形大学に事務職員として採用され、医学部・農学部・教育学部・本部事務局で17年間、主に会計経理の仕事をしていただきました。

平成5年4月に鶴岡高専に転勤し、昨年の7月まで約15年間、会計・庶務・学生関係の仕事をしていただきました。皆様には大変お世話なり感謝しております。

平成16年度からは、国立の大学・高専は法人化になり、個性化、実績主義等が重んじられ、地域に根ざした魅力のある学校づくりが求められています。鶴岡高専も「地域密着型高専」を掲げてスタートした訳ですから、地域のニーズを的確につかみ、皆様の努力で特色があり、競争力のある学校になるよう頑張りたいと願っております。

最後に、鶴岡高専と皆様のご発展を願って退職の挨拶いたします。

着任しました



学生課課長補佐 庄司 信也

平成19年9月1日付けで山形大学医学部学務ユニットというところから異動になりました。

今まで、主に学生関係（教務・入試等）の仕事をしてきました。このたび、9月という年度途中の異動だったので、心構えができていませんでしたし、おまけに、勤務先が鶴岡高専ということで、大変驚きました。以前、米沢で少々単身生活をしましたが、本格的な単身生活は初めてです。この年になって、一人生活というのも結構淋しいものです。

しかし、離れて生活することによって、家族のことなどを改めて考える機会になったのではないかと思います。

これから、少しずつ「高専」というところを知り、時間を有効に使って、庄内での生活を楽しまたいと思っています。もちろん、仕事も精一杯、気張ってやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



学生課技術室 本間 康行

地元の民間企業から工業高校の事務と実習教諭の経験を経て、昨年10月1日から鶴岡高専に勤務することになりました。

鶴岡高専には、はじめて来たのですが、体育施設の多さや寄宿舎が充実しており、施設等の環境は申し分ないと感じております。

中身が駄目だと言われたいよう、学生達が地元や社会に貢献できるような人になれるよう、これまでの経験を生かし、指導を通して精一杯頑張りたいと思います。また、学校が地域社会や地元企業にもっと貢献できるように連携をとっていききたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学生課 石川 琴

昨年6月5日から、こちらで勤務させていただくこととなりました。平成11年に鶴岡高専を卒業し、今年で9年目になります。このような形で、再びこの場所に通うことになるとは、夢にも思いませんでした。

5年間、学び、慣れ親しんだ校舎で、お世話になった先生方や職員の方達と一緒に働くことができ、とても楽しく思ってます。

まだまだ分からないことが多く、皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかとは思いますが、精一杯頑張りますので、これからもよろしくお願いいたします。



企画室 丸金 祥子

10月4日付で鶴岡高専に技術補佐員として採用になりました。

主に、物質工学科、有機機能材料研究室に勤務しています。

鶴岡高専工業化学科（現：物質工学科）を卒業して10年が経ち、この度母校で勤務するという機会に恵まれたことを嬉しく思っています。

学生の皆さんに、「新しい材料を生み出すことの面白さ」さらにその材料を「応用してものを作ることの喜び」を伝えることが務めであると思ひ日々の業務に取り組んでいます。

どうぞよろしくお願いいたします。

在校生からの送辞

ご卒業・ご卒業
おめでとう
ございます。



寮生会長 元木 拓也

5年生の皆さんご卒業、そしてご卒業おめでとうございます。皆さんは5年間という長い期間の学校生活、そして寮生活を、鶴岡高専また鶴鳴寮で過ごして来られたわけですが、卒業を控えた今、振り返ってみれば、きっとあつという間の5年間だったのではないのでしょうか。辛く大変なこともたくさんあったとは思いますが、それ以上に、良い思い出や楽しい出来事があったことでしょう。この思い出は皆さんにとって青春時代のかけがえのない宝物であり、これからの人生の中で必ず大きな糧となるはずです。是非、大事にしていて欲しいと思います。

寮生にとって『鶴鳴寮』とは、「単なる住居」ではなく「第二の我が家」であり、その中で生活する『寮生』は「家族」であるともいえます。その家族の中でも皆さん5年生は、下級生である私たちにとって「頼れる兄」のような存在でした。学習や部活動ではもちろんのこと、日常生活のあらゆる場面で、経験を活かしたアドバイスやサポートをしていただきました。特に私は寮生会長として不備な点が多く、前会長を始めとする前寮生会役員の皆さんからは、行事ごとに的確なアドバイスをいただき支えていただきました。また、他の5年生の方々も、任意での参加であるにもかかわらず、ほとんどの行事に率先して参加し、そして盛り上げて下さいました。5年生のみなさんの協力があってこそ、私は今まで寮生会長としてがんばってこられたのだと思っています。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

5年生の皆さんは、これからそれぞれの道を歩き出すわけですが、学校生活や寮生活で学んだ様々な経験を活かして頑張ってください。そして、鶴鳴寮はいつでもみなさんが帰ってくるのを心待ちにしています。近くによった際には、是非気楽に「ただいま」と遊びに来てください。

様々な分野での皆さんのご活躍を心より祈念いたします。お体に気をつけて。

OB紹介 —活躍する本校卒業生—

鶴岡高専で学び



ミクロン精密株式会社

設計1課 課長

羽角 富彦（昭和60年 機械工学科卒業）

「好きこそものの上手なれ」という言葉がありますが、私はエンジニアになってよかったと思います。ものづくりは楽しいものです。私は高専卒業後、ミクロン精密(株)に入社しセンターレスグラインダの設計に20年以上たずさわっております。受注生産で1台ごと違う機械を作るのは、大変なことですが、飽きることがない点では喜びでもあります。機械設計、加工、組立、制御の力が合わさり製品が完成していくさまは、チームワークの大切さや、やりがいを感じさせてくれます。

弊社の製品は、自動車のインジェクションのセンターレス研削によく用いられますが、その部品精度を上げることにより燃費の向上、排気ガスのクリーン化がはかれます。環境問題に間接的に貢献できることを少なからず嬉しく思っております。

話しは変わりますが、私は学生時代、生意気にも「学校の勉強なんて社会に出てから役に立たない」などと担任の加藤先生に言っては困らせていました。先生は「使う時にしないと分からないんだよ」と言われていましたが、実際、設計の仕事を始めた時には金属材料の教科書を読み返し、ためになる本だと思いました。社会に出てからが本当の勉強が始まるのかもしれませんが、「学生時は勉強の仕方を勉強する」（学生時代に高専卒業生からお聞きした言葉）本当にその通りだと思わされます。

弊社では鶴岡高専の出身者で凍鶴会なる会をつくり、年1回の忘年会を恒例としております。学生時代の話では不思議と年代を超えて語り会えます。先生のあだ名が変わらないのは懐かしさとともに嬉しい感じがします。「〇〇、というのは俺たちがつけたんだ」と、大先輩（2期生）が語った時には高専の歴史を感じました。

私は高専で、勉強に限らず多くのことを学ぶことができたと思います。寮での共同生活、先生方や友人、先輩後輩との出会いとさまざまな体験、それらは社会人となった私の大きな支えとなっています。

外資系会社に勤務して



日本インテグリス株式会社

（旧 日本マイクロリス(株)）

米沢工場 製造本部 次長

宮嶋 道雄（昭和54年 工業化学科卒業）

私は工業化学科を29年前に卒業後、約10年間上山市にある外資系の製薬会社を経て、現在、日本インテグリス(株)というミネソタ州ミネアポリスに本社がある、半導体、フラットパネルディスプレイ、ハードディスクドライブなどのハイテク分野で使用される貴重な材料を精製、保護、搬送する製品・サービスを提供している外資系の会社の極東の製造拠点である米沢工場に18年勤務しています。インテグリスという社名はなじみがないと思いますが、前身は日本ミリポア(株)という化学のろ過の実験で使用するメンブランフィルターを開発した外資の会社で、特に精密フィルター市場でのシェアはトップの位置にある会社です。外資系の会社の常で合併、統合で自社を成長、拡大する戦略をとっていましたが、2006年に日本法人のインテグリス社と合併、社名変更しました。

米沢工場には、鶴岡高専卒の仲間、機械、電気、化学の合計11名が働いています。世代は機械の二期生から物質工学専攻科卒まで年齢の差は鶴岡高専の歴史とほぼ同じです。そして製造、技術、購買、品証などの部門で活躍していますが共通して高専卒が不利なのは英語です。皆さん海外とのTV、電話会議、長期派遣、出張は頻繁で日々英語で苦勞しています。特に技術関係の仕事は英語を使う機会が多いのですが例えば、海外出張では数字を言えば技術者は理解してくれるだけでなく、何とか気持ちを伝えようと努力し、人同士の信頼関係をもちながら英語も学んだ人が会社で仕事もうまくできるようです。このように、外資系の会社で働くことは、日本でできない人生経験の機会が多いことが一番の魅力だと思っています。



JABEE中間審査結果について

専攻科長 宮崎 孝雄



本校の専攻科は、平成17年度にJABEE認定を取得しましたが、今回、前回の審査で改善が必要と指摘された下記の3点について中間審査が行われました。(H19年11月20、21日実施)

- 1) 専攻科生英語力の改善
- 2) デザイン力(学生が総合力を発揮して自主的に問題解決を図る能力)の育成方法と評価
- 3) 教育内容を点検評価する独立した委員会の設置と活動

1)に関しては、学生の英語に対する意識と成績が飛躍的に高まったことが評価されました。2)に関しては、新科目「創造工学演習」や「創造実習Ⅱ」による教育内容と評価基準および研究ノートの改善が評価されました。また、3)については、(新)教務、教育点検評価、教育改善の3委員会の設置と活動状況が評価されました。以上の結果、今回の中間審査はめでたく合格となりました。3年後には、継続審査が予定されています。教職員、学生諸君ともに、気を緩めずに教育改善を常に意識し、実力ある専攻科生として社会的評価を確立してゆくことが重要と考えています。

公開講座「中学英語の総復習」を終えて

総合科学科准教授
田辺 英一郎



1月19日土曜日、主に中学3年生を対象に「中学校英語の総復習」という題目で公開講座を行いました。参加者が多かったので、午前と午後の二回に分けて行い、午前の部は児玉清志教授、午後の部は私、田辺が担当しました。

講座で教えた内容は、午前の部も午後の部も基本的には同じで、「英作文」、「長文読解」および「昨年度の高専英語入試問題の解説」の三部構成という形をとりました。それぞれを10分の休憩をはさんで50分ずつ教えたのですが、教える内容が少し多かったせいか、用意した教材のすべてを教えることはできませんでした。しかし、できるだけ丁寧に分かりやすく教えるように心がけたので、教えた内容の多くは中学生に理解してもらえたと思います。

午前の部、午後の部ともに、この講座に参加した中学生は、とても勉強熱心だったのが印象的でした。休憩をはさんでいるとはいっても、中身が濃い50分の英語の授業を三回連続で受けるのは、中学生にとって

はさぞ大変だろうと私達は思っていました。しかし、受講生のほぼ全員が、集中力がとぎれることなく、最後まで真剣に英語の授業に取り組んでいました。教える側としても、こうした態度にはとてもうれしい気持ちになりました。



講座の最後にはアンケートに答えてもらいましたが、予想以上の好評を得ることができました。教わる側が熱心であればあるほど、教える側を高く評価する傾向があることを私達は経験的に知っています。このアンケート結果は、受講生たちの真剣さが現れているとも言えるでしょう。

今回の公開講座は、本当にやりがいのある講座だったと実感しています。私達の教えたことが、受講した中学生たちの入試合格に役立つことを期待しています。

やまがたサイエンス・カフェ in つるおか

物質工学科准教授
瀬川 透



「中学生・高校生を対象とした科学に関する講演や実験を通して、科学技術の理解増進を目的に、ドリンクを片手に科学者と気軽に話し合ひましょう。」

大学コンソーシアムやまがたと山形県が主催する「やまがたサイエンス・カフェ」が、財団法人東京応化科学技術振興財団後援の下、去る平成19年10月21日、本校を会場に開催されました。講師は横山正明先生(鶴岡工業高等専門学校学校長)と菅原晃先生(鶴岡工業高等専門学校物質工学科教授)で、横山先生は「身近な自然を科学しよう」、菅原先生は「不思議な化学物質の世界を訪ねる」というテーマで講演と体験学習をそれぞれ実施していただきました。参加者は小・中学生とその保護者、合わせて30名でした。講演の後、講師の先生を囲んで和やかな語り合いが行われました。

この「やまがたサイエンス・カフェ」は、平成20年もここ鶴岡市を含め、県内各地での開催が予定されていますので、興味のある方は奮ってご参加ください。

「おもちゃの病院」ボランティアに参加して

3年前、「おもちゃの病院」ボランティアスタッフ募集の貼り紙を見て、NHKフリーマーケットの画で行なわれていたおもちゃ修理ボランティアに参加しました。その基盤は15年ほど前から毎月第三日曜日の午前中にNHKを会場として開かれていた「ものを大切に」ことを主旨とした歴史あるフリーマーケットです。その主旨に則って、壊れたおもちゃを直すことで、ものを大切にする心を育てようというおもちゃ修理のボランティアが5年ほど前から始まったと聞きました。現在はNHKで会場を提供できなくなってしまったことから、今年度から「おもちゃの病院」だけ中央児童館に引っ越して開院時間は変えずにボランティア活動を継続しています。

「どうしておもちゃの修理ができるの?」と聞かれることがあります。おもちゃの修理という大変な作業のように聞こえますが、物質工学科の私にとっても特に難しいことはありません。故障の大半は断線や接触不良などが原因で、ハンダ付けや内部の手入れで直ってしまいます。これだけでおもちゃを捨てずに済み、子供や親御さん、おじいさん、おばあさんに喜んでもらえるので、この活動を振り返ると「やってきて良かったな」と思えます。また、ボランティア活動への参加によって学校の外でも人間関係が形成され、良い経験と思い出もできました。必要なのは技術ではなくや

物質工学科5年 阿部 礼



ってみることだと思います。

NHKを会場としておもちゃの病院のボランティアをしていた頃は、会場に来る方々はほとんどフリーマーケット目当てだったのでおもちゃ修理の依頼件数も少なく、いつもは5件前後、多くて10件程度で全く来ない月もありました。なので、私が参加し始めた頃は毎月スタッフが3~4人くらいで充分人手は足りていた記憶があります。しかし中央児童館での活動を始めた頃から、宣伝効果もあってか毎月20件を超えるほどの患者さん（おもちゃ）が来ています。NHKの時と変らないスタッフの数ではとても時間内（9~12時）では診きれません。これまで技術的に直すのが難しいおもちゃだけは大人のスタッフが持ち帰って直していましたが、今は時間内に手を付けられなかったおもちゃは各自が持ち帰って直すか、休日都合のつく人たちが集まって直す作業をしていたりします。現在おもちゃの病院ボランティアに参加している高専生は専攻科生1人、私を含めて5年生が2人、1年生が3人です。専攻科生と5年が卒業なのでこの4月からは3人しか残りません。個人の都合やテストなど、毎月皆が参加できるわけではなく人手不足の状態なので、興味のある方は学生に限らず先生も、是非、ボランティアに参加して欲しいと願っています。

物質工学科4年生『甲種危険物取扱者試験』に1年間で18名の合格者

実践的技術者を目指す本校学生にとって種々の公的な資格の取得を目指すことは、専門教科を学ぶ上で非常に励みとなると共に勉学の具体的な目標と成り非常に推奨すべきことです。その為学校としても資格の取得を奨励しています。物質工学科としては在学中に資格取得が可能な危険物取扱者の乙種と甲種の取得に向けて、工業化学特論Ⅱ（2年生）と物質工学演習（4年生）の2教科を設け手助けをしてきました。その結果今年度の物質工学科4年生は41名中甲種合格18名と言う輝かしい成果を納めました。この資格は大学卒の技術者でも合格率が3割以下と非常に難しい試験であり、昨年、一昨年の4年生は4~6名が合格したのみでした。今年このように大勢が合格できたのは学生が大変努力した

物質工学科教授 菅原 晃



事と共にこれまでのノウハウの蓄積が生きたことによるものと思います。来年度、いまだ合格していない学生は是非合格を目指して日々の努力を続けてください。社会人になってからは、仕事をやりながら勉強をして試験に臨むこととなり、時間が無く非常に大変になると先輩諸君が話しております。時間が有り、体力のある学生の内に甲種合格を達成してください。その為に我々が出来ることはお手伝いするつもりです。質問しに来るのも良いでしょう、願書ももらいに来て良いです、是非合格の朗報を聞かせてください。物質工学科卒業時までには全員が合格する事を祈っております。

各種大会の記録

● 東北地区高専体育大会

▶ 陸 上

男子やり投げ：第2位 佐藤雄治 (2I)
女子砲丸投げ：第2位 大井杏那 (3B)
女子やり投げ：第2位 大井杏那 (3B)

▶ バスケットボール：第3位

▶ 卓 球

ダブルス：第3位
山本啓太 (5I)・佐藤賢司 (4I)

▶ 剣 道

男子団体：第2位
女子個人：第3位 阿部早紀 (1B)

▶ テニス

女子団体：第3位
女子ダブルス：第3位
猪俣美郁 (3B)・上林彩華 (3I)
女子ダブルス：第3位
阿部奈美 (4B)・本間静香 (4B)

▶ バレーボール

男子：優勝
女子：第3位

▶ ソフトテニス

団体：第3位
個人：第2位 渡部晃 (2B)・鈴木優 (2E)

▶ 柔 道

男子団体：優勝
男子73Kg級：優勝 本間譲 (2M)
男子73Kg級：第3位 青柳大樹 (5M)
男子60Kg級：第3位 山本翼 (2E)
女子63Kg級：第2位 漆山やよい (2B)

▶ 野 球：第3位

▶ サッカー：第3位

▶ 水泳 (男子)

学校対抗：第3位、400Mリレー：第2位

800Mリレー：第3位

400Mメドレーリレー：第3位

100M自由形：優勝

200M背泳ぎ：第2位 忠鉢貴人 (4I)

200M自由形：第3位

400M自由形：第2位 阿部晃大 (1I)

800M自由形：第2位 高橋忠相 (5M)

200M個人メドレー：第2位 石川聡太 (1B)

▶ 水泳 (女子)

学校対抗：第3位、400Mリレー：優勝

200Mメドレーリレー：優勝 (タイ記録)

100M平泳ぎ：優勝

50Mバタフライ：第2位 (大会新記録) 大瀧真優 (3I)

100M平泳ぎ：第3位 廣井絵美 (1I)

▶ バドミントン

男子団体：第2位

女子団体：優勝

女子シングルス：優勝 舟腰磨結実 (5I)

女子シングルス：第3位 粕谷知里 (4I)

女子シングルス：第3位 舟腰佳織 (3I)

女子ダブルス：優勝

舟腰磨結実 (5I)・粕谷知里 (4I)

女子ダブルス：第2位

大場育美 (3I)・舟腰佳織 (3I)

● 全国高専体育大会

▶ 柔 道

女子63Kg級：第3位 漆山やよい (2B)

▶ バドミントン

女子団体：優勝

女子ダブルス：優勝

舟腰磨結実 (5I)・粕谷知里 (4I)

▶ 水 泳

男子100M自由形：優勝 忠鉢貴人 (4I)

女子100M平泳ぎ：優勝 大瀧真優 (3I)

女子400Mリレー：優勝 (東北地区) 大瀧真優 (3I)

● 高専ロボコン東北地区大会

▶ 特別賞：鶴岡高専A (Progressers!)

今年度の進路状況について

学生課

今年度の就職状況は、企業側の業績回復により企業の求人数が増加してきたこともあり、就職希望者のほぼ全員の就職が内定しました。本校の学生に対する企業側の評価は高い反面、高専生としての能力を十分に選考する等、企業が求める人材であるか否かを慎重に見極める傾向があり、学生も安易な姿勢では希望する企業に内定できない状況となってきました。また、来春卒業・修了予定者への求人の出足は好調で、既に600社以上から求人票が出されております。このため、就職先の選択肢は幅広くありますが、学生は自分の適性を見極めて企業の情報を収集する等心がけるよう支援していききたいと思います。

また、編入学生受入大学の増加に伴い本校でも進学者が増えており、今春卒業・修了予定者176名のうち、57名の進学が決定しています。進学を目指す学生についても、自分の適性を見極めて進学先を決める等心がけてほしいと思います。

【進学内定先】

鶴岡高専専攻科
新潟大学
東京農工大学
香川大学
琉球大学
長岡技術科学大学
豊橋技術科学大学
新潟大学大学院
信州大学大学院

【就職内定先】

(建設業)

芦野工業(株)
株)ユアテック
日本オーチス・エレベータ(株)
キリンエンジニアリング(株)

(食料品)

明治乳業(株)東北工場
明治乳業(株)神奈川工場
明治乳業(株)守谷工場
森永製菓(株)
森永乳業(株)利根工場

(化学工業)

山崎製パン(株)
住友化学(株)千葉工場
トーアエイヨー(株)
中外製薬工業(株)
株)花王
日清紡績(株)研究開発センター
株)テルナイト
株)カネカ
ゼオンケミカルズ米沢(株)

三菱ガス化学(株)新潟工場
オート化学工業(株)
日宝化学(株)
日弘ビックス(株)
川研ファインケミカル(株)
米沢浜理薬品工業(株)
株)三井化学分析センター
相互薬工(株)

(一般機械器具)

ハイメカ(株)
株)山本製作所
株)日立建機カミーノ
株)アマダ
株)シンクロン鶴岡工場
株)森精機製作所
(電気機械器具)
株)高砂電子機器製作所
京セラ(株)滋賀工場
ソニーエム・エス(株)木更津工場
ソニー・エム・エス・インフォメーション(株)
ミツミ電機(株)山形事業所
ミツミ電機(株)
株)小笠原計器製作所
ソニー白石セミコンダクタ(株)
東北パイオニア(株)
オリエンタルモーター(株)
アルプス電機(株)
TDK秋田(株)
山形日本電気(株)

(石油製品・石炭製品)

極東石油工業(株)
東燃ゼネラル石油(株)
東亜石油(株)

出光興産(株)
(出版)
大日本印刷(株)
(精密機械機器)
キヤノン(株)
株)アライドテック酒田事業所
ミクロン精密(株)
東北エプソン(株)
株)仙台ニコン

(その他)

田中貴金属工業(株)鶴岡工場
吉野石膏(株)
日鐵住金溶接工業(株)
株)ヤマトテック
日東電工(株)東北事業所
(電気・ガス・水道業)
東北電力(株)
東京電力(株)
酒田共同火力発電(株)
日本原子力発電(株)
(サービス業)
トヨタテクノエンジニア(株)
株)フェニックスエンジニアリング
株)ヨロズエンジニアリング
ティーエスイー(株)
総合警備保障(株)
株)SUMCO
株)ソリトンシステムズ
株)ヒップ
三菱電機システムサービス(株)
ソラン東北(株)
バイオニアシステムテクノロジー(株)
TMCシステム(株)

ネットワーク・システム・テクノロジー(株)
総務情報システム(株)
株)NTTファシリティーズ
日信電子サービス(株)
酒田エス・エー・エス(株)
タクトシステムズ(株)
庄内ユニカソリューション(株)
NECフィールディング(株)
シーティーシーテクノロジー(株)
株)日立東日本ソリューションズ
株)エスアイインフォジェニック

(輸送用機械器具)

富士重工業(株)
ヤマハ発動機販売(株)
ティービーアール(株)
本田技研工業(株)
パスカルエンジニアリング(株)
マレック・エンジニアリング(株)
株)アイ・エフ・アイマシナリティ 横浜工場

(鉄鋼業)

山陽精機(株)
(繊維工業)

旭化成(株)
東レ(株)

(金属製品)

日清紡績(株)
宏和工業(株)
株)フルヤ金属

(官公庁)

防衛省

平成19年度 卒業・修了予定者進路状況

(平成20年3月3日現在)

学 科 名	卒業修了 予定者数	進 学 希望者数	就 職 内定者数	就職内定者内訳		そ の 他 自 営	求 人 数 会 社 数	求人数	求 人 率
				県 内	県 外				
機 械 工 学 科	38	12	26	11	15	0		637	24.5
電 気 工 学 科	36	12	24	7	17	0		604	25.2
制 御 情 報 工 学 科	41	16	25	9	16	0		456	18.2
物 質 工 学 科	39	14	25	3	22	0		300	12.0
専 攻 科	22	3	18	9	9	1		533	29.6
合 計	176	57	118	39	79	1	958	2,530	21.4